

## 笑顔の人生

(原文)

遠藤 百恵 (13 歳)

福島県

福島県立会津学鳳中学校・高等学校

私が大切にしている価値観とは、「笑顔でいること」です。笑顔は、自分自身にも、まわりの人にも様々ないい影響をもたらします。そして、笑顔だからこそ得られるものもたくさんあります。みなさんは、「笑う門には福来る」ということわざを知っていますか。いつも笑いが絶えない、いつも明るく朗らかであれば自然と幸福がやってくる。このように、「笑顔」がどれだけ大切かが分かります。

しかし、私は明るいとか楽しいだけが「笑顔」だとは思っていません。例えば、自分が傷つかないように自分自身を守るために笑顔でいるのかもしれない。でも、一番自分を知っているのは自分自身であるので、こういった方法でも私はいいと思います。

私は、小学生の頃から、辛い時も、楽しい時も笑顔でいました。だから、友達からは、「元気だね」や、「何も考えてなさそう」とたくさん言われてきました。そこで私は、「自分らしく笑顔でいる」とは何かと考えるようになりました。そして、私は気付かされたのです。私が「笑顔」でいるからこそまわりの皆も笑っていられるのではないかと。自然と笑っているのではないかと。だったら自分は、自身のためではなく、人のために笑顔で生きていこうと思いました。それが、私が自分らしく生きていこうと邁進している現在へのスタートラインだと思います。もしかしたら、「笑顔」をバカにする人だっているかもしれません。おかしいと思う人だっているかもしれません。決して、自分の考えが正しいわけではありません。他人の考えが正しいわけでもありません。だから、人は変わっていけるのではないかと思います。

私は、真っすぐ、明るく、笑顔で自分らしく生きるのが私の生き方だと思います。

私は、父に「笑顔で人を傷つけることはないからね。」と言われたことがありました。

私は、中学生になってからこの言葉を胸に元気に過ごしています。例えば、なかなか話の話題についていけない子がいても違う話題にかえ、友達全体で話せる環境を作りました。私はもともと、とても人見知りでありましたが人とのコミュニケーションをしながら「笑顔」を心がけていた結果、今では、誰とでも話せるようになりました。もう、毎日がとっても楽しくてしかたありません。クラスの友達とも、たくさん話しています。じつは、2年生になったばかりの頃新しいクラスでとても静かなクラスだったのです。それが、自分達の意見を出し合ったり、協力していくことによって、今では、「笑顔」の絶えないクラスになっています。改めて、「笑顔」はたくさんの人を繋ぎ、救ってくれる希望の光だと

感じました。強い、真っすぐな光です。

私は、「笑顔でいること」を大切に人のために生きていくことによって、皆があきらめず、一つ一つのことへの感謝ができるようなそんな世の中を作っていきたいです。一人一人が意味を持ってこの世に生まれてくるなら、私はその命を大切にできるような平和な社会がいいです。みなさんは、将来の夢など決まっていますか。私は、人と関われる仕事に就きたいと思っています。もしも、夢が決まっていなかったのなら、それはとてもいいことだと思います。なぜなら、夢が決まっていないということは、すべてのことに関心があるということでもあると思うからです。いろんなことに興味をもてるのはとてもすごいことだと思います。

私は、「可能性は無限大」という言葉のように皆さんに何事もあきらめないでほしいです。そして、辛い時こそ「笑顔」です。

私は、皆が笑い合える明るい世界が将来築けられるようお願い、皆さんと共に進んでいけたらと思います。